

第1回市議会臨時会を、5月15日（月曜日）に開会するため、昨日、招集告示をさせていただきました。

今議会に提出を予定している案件は、
選挙として、「議会からの提出案件」が3件、
報告として、「専決処分」が4件、
議案として、「人事案件」が1件、「補正予算」が1件、
「契約の締結」が2件の、合計4件となります。

以上、選挙、報告、議案を合わせまして、合計11件となります。
案件の詳細につきましては、担当部長から説明させていただきます。

【総務部長】

第1回市議会臨時会提出予定案件につきまして、御説明いたします。

3ページから5ページまでの「選挙」につきましては、いずれも議会からの提案でございます。

次に、「報告」について御説明申し上げます。

6ページの報告1「専決処分について」は、「令和5年度一般会計補正予算（第2回）」について、本年4月17日付け専決処分により定めましたので、これを議会に報告し承認を求めるものでございます。

主な内容でございますが、低所得の子育て世帯に対し、生活支援特別給付金を支給するため、歳入歳出それぞれ2億5,220万8千円の増額補正を行ったものでございます。

7ページの報告2「専決処分について」は、令和5年度税制改正に伴う「苦小牧 市税条例の一部改正」について、本年3月31日付け専決処分により定めましたので、これを議会に報告し、承認を求めるものでございます。

主な改正内容でございますが、固定資産税関係として、管理計画認定マンション等一定の要件を満たすマンションについて、長寿命化に資する大規模改修工事を実施した場合に当該工事が完了した翌年度分の建物に係る固定資

産税の3分の1に相当する額を減額するもの、軽自動車税関係として、排出ガス性能及び燃費性能に応じた軽減措置の適用期限を延長するもの、国民健康保険税関係として、経済動向等を踏まえ、5割軽減及び2割軽減の対象世帯が拡大するよう軽減判定基準を見直すもの、などでございます。

8ページの報告3「専決処分について」は、「損害賠償の額の決定及びこれに係る和解について」、本年4月14日付け専決処分により決めましたので、これを議会に報告し承認を求めるものでございます。

この事案は、令和5年3月17日、苫小牧市双葉町の市道において、強風により近隣のごみステーションに設置されたごみ箱及びその蓋上の重しが飛ばされ、走行中の相手方車両を損傷した物損事故であり、損害賠償の額は411,950円でございます。

9ページの報告4「専決処分について」は、同じく「損害賠償の額の決定及びこれに係る和解について」、本年4月20日付けで専決処分を行ったものでございます。

この事案は、令和5年3月13日、苫小牧市拓勇東町の住宅敷地内において、強風により近隣のごみステーションに設置されたごみ箱が^{あお}煽られ、相手方の車庫の外壁を損傷した物損事故であり、損害賠償の額は228,800円でございます。

なお、これらの事故の賠償金につきましては、市が加入している保険会社から直接相手方に支払われることから、予算措置はございません。

次に、「議案」について御説明申し上げます。

10ページの議案1「苫小牧市監査委員の選任について」は、^{かみやま}神山 ^{てつたろう}哲太郎監査委員が本年4月30日をもって任期満了となるため、後任者の選任について、議会の同意を求めるものでございます。

11ページの議案2「令和5年度苫小牧市一般会計補正予算（第3回）について」は、後ほど財政部長から説明いたします。

12ページの議案3及び13ページの議案4は、「契約の締結について」の議案であり、大成町市営住宅（1－11－1）西面外壁改修主体工事のほか1本の工事請負契約について、予定価格が1億5千万円以上のため議会の議決を求めるものでございます。

以上で、簡単ではございますが、私からの説明を終わらせていただきます。

【財政部長】

令和５年度 第１回市議会臨時会 補正予算（案）概要をお願いします。

今回の補正は、主に国の「地方創生臨時交付金」における電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金のうち、低所得世帯支援枠として、住民税非課税世帯に１世帯当たり３万円を支給する事業に対して配分される交付金９億３，４４９万８千円と、推奨事業メニュー分として、国で推奨する生活者や事業者への支援に関する事業に対し、国から示された交付限度額４億９０３万７千円の活用について補正予算案として提出させていただくもので、一般会計のみの補正でございます。

一般会計の補正額は、２ページの歳入、３ページの歳出、ともに、１５億１，２７５万１千円の増額補正でございます。

内容につきまして、説明させていただきます。

４ページをお願いいたします。

第２款『総務費』、１番「マイナポイント利用環境整備事業費」は、国のマイナポイント事業の申込み期限延長に伴い、国の求めに応じて支援体制を継続するもので、全額、国補助金により行うものでございます。

２番「こども国際交流基金積立金」は、指定寄附金１件を積み立てるものでございます。

３番「スポーツ施設整備費」は、指定寄附金を活用し、スポーツ施設で使用する備品を購入するものでございます。

４番「防災備蓄品整備事業費」は、指定寄附金１件を事業の一部に活用するものでございます。

第３款『民生費』、５番「福祉ふれあい基金積立金」は、指定寄附金１件を積み立てるものでございます。

５ページをお願いいたします。

６番「住民税非課税世帯支援金給付事業費」及び、７番「住民税均等割のみ課税世帯支援金給付事業費」は、物価高騰の影響が特に大きいと考えられる世

帯に対する支援として、1世帯3万円の給付金を支給するものでございます。

8番「副食費・食材費高騰対策事業費」は、物価高騰による園児の保護者への負担を軽減するため、2か月分の副食費の支援及び保育施設等の負担を軽減するため、食材費の高騰分を支援するものでございます。

6ページをお願いいたします。

第6款『農水産業費』、9番「配合飼料購入農業者支援事業費」は、配合飼料価格の高騰の影響を受けている酪農・畜産農家の負担を軽減するため、配合飼料を購入する市内農業者に対し、配合飼料価格安定制度の農業者負担相当額を支援するものでございます。

第7款『商工費』、10番「事業継続支援事業費2023」は、燃料費高騰や物価上昇等の影響により、売上が3年前までの同月比で30%以上減少するか、ひと月の仕入額または経費が3か年前までのいずれか1年の同月を超え、かつ利益が10%以上減少した市内の中小・小規模事業者への支援金の給付に要する経費でございます。

11番「高圧・特別高圧電気料金高騰対策支援事業費」は、高圧及び特別高圧電力の供給を受けている市内事業者に対して、電力使用量に応じた支援金を支給するものでございます。

7ページをお願いいたします。

第10款『教育費』、12番「学校給食支援事業費」は、物価高騰による小中学生の保護者への負担を軽減するため、2か月分の学校給食費の支援及び学校給食会へ食材費の高騰分を支援するものでございます。

13番「多子世帯給食費助成事業費」は、企業版ふるさと納税1件を事業の一部に活用するものでございます。

14番「市民文化芸術振興基金積立金」は、指定寄附金2件を積み立てるものでございます。

資料の8ページ以降に、事業の概要等と、「地方創生臨時交付金（電気・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金）事業一覧」を掲載しておりますので、ご参照ください。

以上、簡単ではございますが、補正予算の説明を終わらせていただきます。

【市長】

次に案件２の「新型コロナウイルス感染症への対応について」ご説明いたします。

新型コロナウイルス感染症の感染法上の位置づけが、５月８日をもって５類に移行されたことに伴い、昨日、市の対策本部会議を開催し、感染対策は個人等の判断を基本とすること、市主催のイベントや会議における制限は原則行わないこと、対策本部を廃止し、必要に応じて対策を協議することといたしました。

また、市立病院では、一般病棟２病棟を休止して感染症対策に当たってきましたが、８日から１病棟を再開いたしました。なお、感染症病床につきましては、北海道との協議により、引き続き、最大２４床を確保することとしております。

次に、ワクチン接種につきましては、来年３月３１日まで公費接種期間が延長されており、苫小牧市医師会とも連携をしながら、５月１３日の接種開始に向け体制構築を進めており、今後も希望される方が速やかに接種できるよう努めてまいります。

詳細につきましては担当部長から説明させていただきます。

【健康こども部長】

それでは、令和５年春開始コロナワクチン接種について、資料３に沿ってご説明いたします。

苫小牧市内における令和５年春開始接種は、５月１３日（土）から開始となり、対象者は初回接種を完了した６５歳以上の方、約５０,０００人と、基礎疾患を有する５歳から６４歳までの方、及び重症化リスクの高い方が多く集まる場所で、サービスを提供する医療機関や高齢者施設・障害者施設等の従事者の方となっています。

すでに、春開始接種に必要な接種券を６月１５日までの期間で発送しておりますが、今回送付している接種券はピンク色の接種券となりますので、接種の際にはお間違いないようお願いいたします。

また、６４歳以下で４月２１日までに接種券の発行申請をいただきました

方に対しましては、４月２８日に接種券を送付しておりますが、今後も申請をいただきました方に対し、随時接種券を発行し、送付をまいります。

なお、オミクロン株対応ワクチンによる追加接種は５月７日で終了となっておりますので、春開始接種の対象者を除く方は、次回接種は秋に開始される秋開始接種において受けていただく予定となっております。

最後に、乳幼児の初回接種、小児の初回接種・追加接種、１２歳以上の方の初回接種は継続しておりますので、接種を希望される場合は予約を入れていただき、接種を受けていただくようお願いいたします。

【市長】

この間、未知のウイルスに対応し、最前線でご尽力いただいた苦小牧市医師会や苦小牧保健所、市内医療機関や高齢者施設等の関係者の皆様、そして、様々な要請にご協力をいただいた市民及び企業市民の皆様に、心から感謝を申し上げます。誠にありがとうございました。

昨日をもって一つの区切りを迎えましたが、ウイルスの脅威は完全には払しょくされてはならず、市民の皆様には、これまでの感染対策の経験に基づき、状況に応じた対応をしていただくよう、よろしくをお願いいたします。

本市としましても、新たな変異株の発生や国内の感染状況に引き続き注視し、「日常への回復と変革への挑戦」に取り組んでまいります。

次に案件３の「とまこまい ^{こく}国スポ^{ニーマルニーション}２０２４」における大会マスコットキャラクターについて、ご説明いたします。

本大会におきましては、水色のユニフォームを着た「とまチョップ」が、大会主催者である日本スポーツ協会から４月１２日に、承認をいただきましたので、今後の大会周知に向けて積極的に活用してまいります。

詳細につきましては、担当参与から説明させていただきます。

【総合政策部参与】

それでは、来年１月から開催を予定している「とまこまい国スポ 2024 における大会マスコットキャラクター」について、ご説明いたします。

本大会におきましては、マスコットキャラクターを定めることができますが、大会のオリジナルデザインにすることが条件とされておりますので、水色のユニフォームを着た「とまチョップ」として、４月１２日に、大会主催者であります日本スポーツ協会において、大会マスコットキャラクターに承認されたところでございます。

ユニフォームの作成にあたりましては、デザインの経験をお持ちの市の会計年度職員の方にご協力をいただいたほか、ユニフォームの色については、とまチョップのツイッターなどで約 2,000 名のアンケート調査によって、選定しております。

今後は、実際に「とまチョップ」のユニフォームも作成して大会PRを行うほか、ポスターやホームページ等でこのデザインを活用しながら、大会を盛り上げるPR活動を積極的に行ってまいります。

説明については以上でございます。

【市長】

今日は、とまチョップも来ております。まだユニフォームはできておりませんが、大会マスコットキャラクターに決まった「喜びのポーズ」を披露したいと思います。

それでは、とまチョップ、どうぞ！

説明は以上でございます。ご質問があれば、お受けいたします。